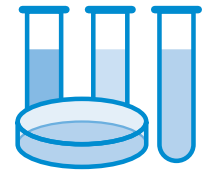


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

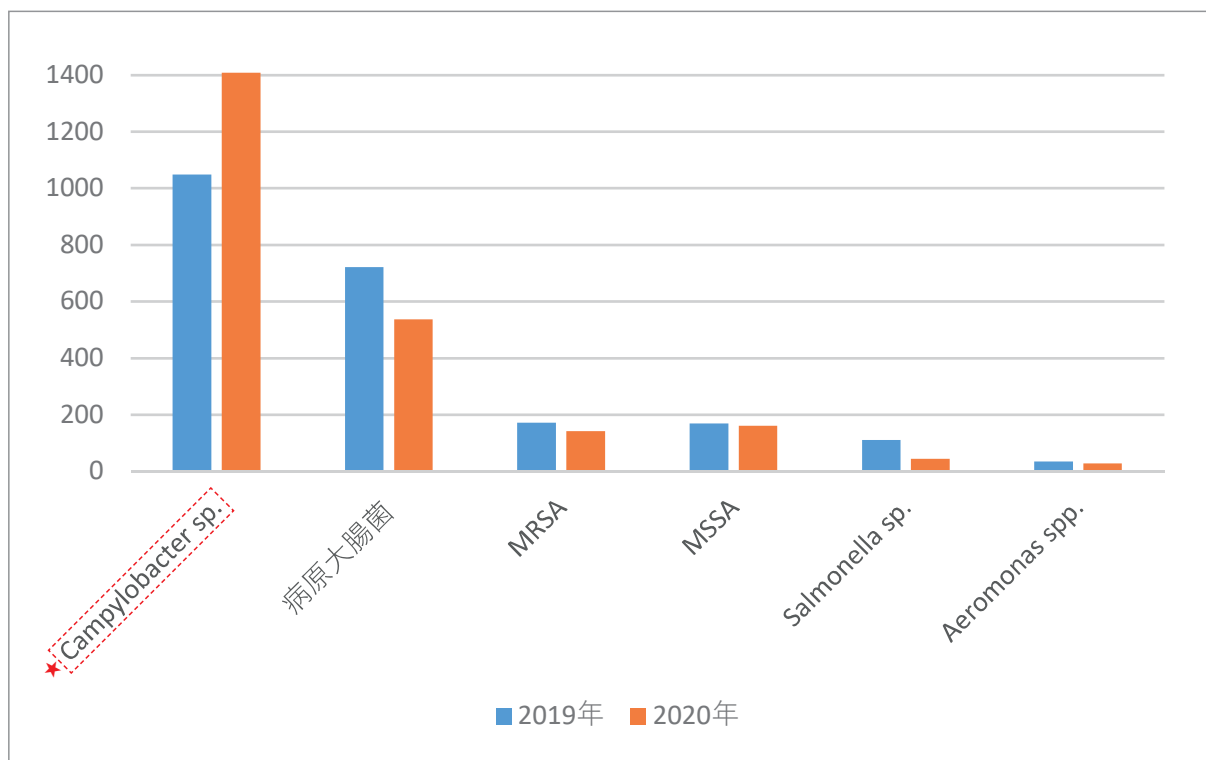


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、2019年と2020年の糞便からの細菌検出状況と、*Campylobacter* sp. の検出状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

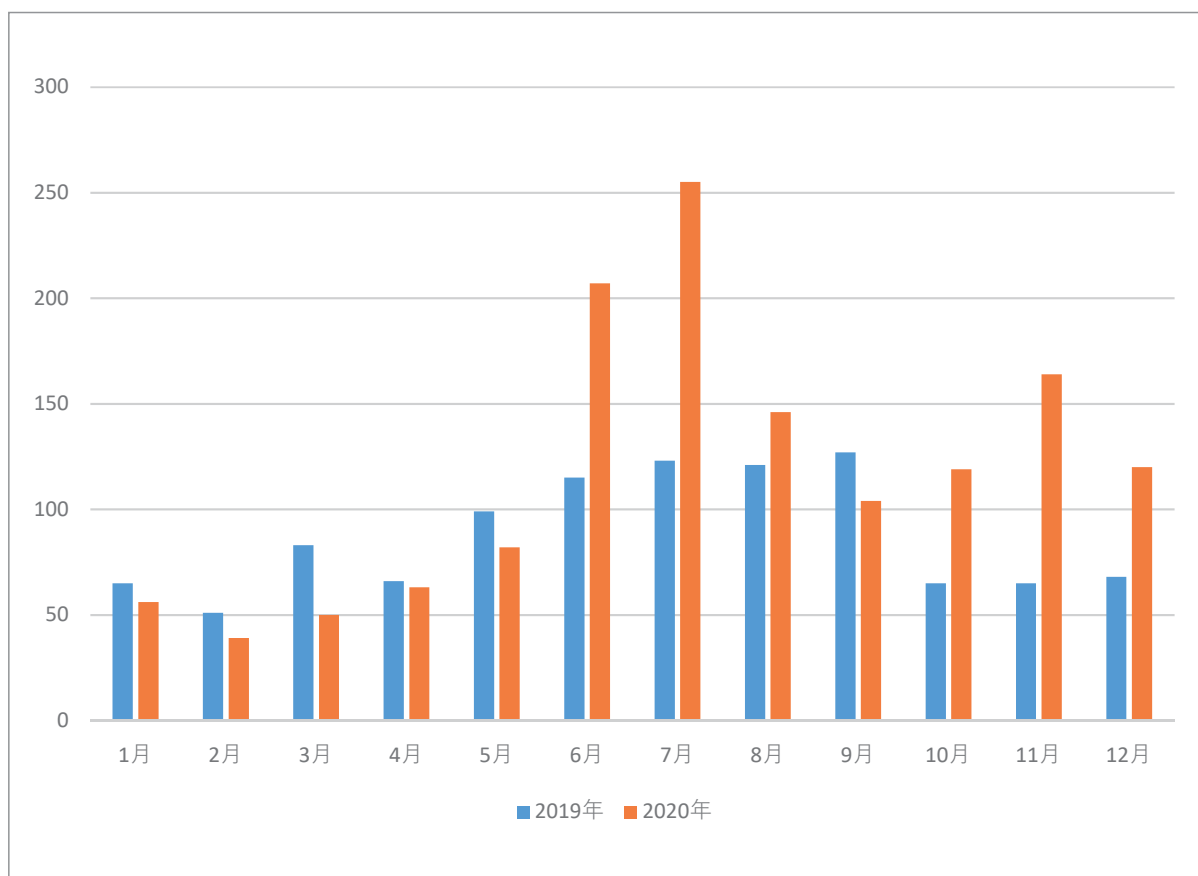
【糞便】細菌検出状況(2019年、2020年)



2019年と2020年に糞便から検出された上位菌種の検出数の比較です。2020年に *Campylobacter* sp. のみ増加しており、他の菌種においては横ばい、又は減少しています。全国的に2020年は、新型コロナウイルスの影響による外出自粛傾向から、食中毒は減少しています。*Campylobacter* sp. については増加傾向が続いており、今後も動向を注視していく必要があります。

【細菌検出状況】

【糞便】*Campylobacter* sp. 検出状況 (2019年、2020年)



Campylobacter sp. は約15菌種に分類されますが、糞便から分離される菌種のほとんどが *Campylobacter jejuni* であり、まれに *Campylobacter coli* が検出されます。*Campylobacter jejuni* は人以外の多くの動物が保有しており、人には経口感染によって胃腸炎を起こします。

Campylobacter sp. の2019年と2020年の検出状況を比較すると、2020年6、7月と10~12月の検出数が特に増えています。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係